

役員様
出場チーム

長野県軟式野球連盟北信連合会
会長 田中保信
(公印省略)

第42回長野県学童軟式野球選手権秋季大会（松井秀喜旗争奪第19回学童野球大会）
北信代表決定予選会実施要領【組合せ抽選後】

1. 主催 長野県軟式野球連盟 北信連合会
2. 主管
 - Aブロック 長野県軟式野球連盟 北信連合会 長野市支部
 - Bブロック 長野県軟式野球連盟 北信連合会 須高支部
 - Cブロック 長野県軟式野球連盟 北信連合会 南長野支部
 - Dブロック 長野県軟式野球連盟 北信連合会 千曲支部
 - ◎準決勝・決勝 長野県軟式野球連盟 北信連合会 南長野支部
3. 会期
 - 1次予選 8月12日（土）
 - 2次予選（ベスト16・準々決勝） 8月13日（日）
 - ◎2次予選・準決勝、決勝 8月19日（土）
4. 会場
 - Aブロック 北部スポーツ・レクリエーションパーク（長野市）
 - Bブロック 須坂市野球場（須坂市）
 - Cブロック 青垣公園多目的グラウンド（長野市）
 - Dブロック 戸倉野外趣味活動センター野球場（千曲市）
 - ◎準決勝・決勝 青垣公園多目的グラウンド（長野市）
5. 適用規則 公認野球規則、全軟連競技者必携、県連取り決め事項及び北信大会開催要項による。
※北信大会開催要綱（学童の部のみ抜粋）版は「春季大会」で示しているため省略
6. 申込
 - ① 春季大会への出場（申し込み）をもって完了とする。
(終了) 注1) 実施要領受領後、出場を辞退する場合は6月27日（火）までに所属支部を通じ、北信連合会
あてに申し出ることとし、期限を過ぎてからの辞退は、原則として認めない。（様式なし）
7. 組合せ抽選
 - ① 別紙「通知」のとおり
 - (終了)** ② 期——日——~~7月1日（土）11時00分~~（受付10：30～）
 - ③ 会——場——~~千曲市戸倉体育館「柔剣道場」~~
 - ※「第8回全日本中学女子一県大会」開催日に併せて実施する。
 - ※抽選会に参加できないチームは、事前に「委任状」を提出すること。（様式別紙）
 - ~~提出期限6月27日（火）~~所属支部（経由）→北信連合会事務局
8. 組み合わせ表
 - 出場辞退なく、春季大会と同数の場合は、トーナメント表についても同様とする。
 - したがって、出場チーム数によっては、変更になる場合がある。**(別表のとおり決定)**
 - ※春季大会において、県代表決定大会に出場した4チームは「シード」とする。（抽選会日に別途抽選）
9. 使用球 全軟連公認球 TOP J球
10. 参加料 1次予選 6,000円 2次予選 10,000円
11. その他
 - ① 長野県代表決定大会
 - 会 期 9月17日（日） *予備18日（祝・月）
 - 会 場 松本市野球場
 - 申込〆切 9月11日（月）厳守
 - ② 松井秀喜旗争奪第19回学童野球大会（石川県）
 - 会 期 未定
 - ③ 学童チームにおける選手登録に関する取扱いについては、別紙通知のとおりとする。

雨天順延
予備：20日（日）

12. 連絡先 (問合せ先)

名 称	氏 名	携帯電話	備 考
北信連合会 事務局長	竹内 司	090-2240-6465	FAX 026-275-0144
支 部	長野市支部 事務局長	岡部 勉	090-1426-7295
	高水支部 事務局長	武田 広 幾	080-5108-8051
	須高支部 事務局長	野村 和 男	090-5433-0437
	南長野支部 事務局長	小出 昭	090-5523-1475
	千曲支部 事務局長	青木 紀 明	090-3149-4153
坂城支部 事務局長	宮坂 忍	090-3440-3955	

北信大会開催要項(学童の部のみ抜粋)

(はじめに)

本要項は、北信大会における取決め事項を記した「北信大会開催要項」のうち、学童に関する記述を抜粋したものである。本開催要項に記載のない事項等は、公認野球規則及び競技者必携を適用する。

1 公式大会開催要項

(1) チーム構成 (大会でベンチに入ることのできる人員)

- ① 試合出場選手は 10 名以上 25 名以内
- ② 背番号：監督 30 コーチ 28・29 (2 名以内。成人とする。)
主将 10 選手 0～99 (00 は不可)
- ③ その他
 - ・ チーム責任者 (引率責任者で成人であること) 1 名
 - ・ マネージャー 1 名
 - ・ スコアラー 1 名
 - ・ トレーナー (有資格者) 1 名

(2) 各北信大会の出場チーム数等は、次のとおりとする

○高円宮賜杯全日本学童 (春季)

- ① 出場チーム数
各支部登録チームによるトーナメント戦にて代表の 4 チームを決定する。各ブロックのベスト 4 (大会全体ベスト 16=2 次予選) からは「北信大会」とする。
- ② 抽選会…各支部総会にて参加チームを確認し、後日改めて抽選会を行う。

○長野県学童選手権 (秋季)

- ① 出場チーム数は、高円宮賜杯全日本学童と同じ。春季大会に出場の成績上位 4 チーム (同成績の場合は、得失点差を考慮) からシード権を与える。
- ② トーナメント戦とし、北信代表は 1 チーム

(3) 試 合

ア 参加人員

- ① 学童については、選手 10 名以上 25 名以内とする。
- ② 試合開始整列時に 9 名の場合は、棄権扱いとする。
- ③ 態勢が整っているときは、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
(打順表の提出時に説明する。)

イ 集合時刻 **※開会式は行いません**

試合開始予定時刻 60 分前に会場に到着し、本部に届け出ること。

ウ 試合開始時刻

8 時 30 分からとする。

注：都合により、試合開始時刻を変更することがある。この場合は、その都度連絡する。

エ 回数

試合は、6回戦とする。

オ 試合時間

- ①試合時間を1時間30分とする。
- ②1時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。
- ③1時間30分を越えて同点の場合は、抽選で勝敗を決する。
- ④試合が著しく遅延した場合等は、状況により、試合時間を1時間20分にすることがある。
この場合は、試合開始前に説明する。

カ 延長戦

- ③6回を完了して同点の場合、または試合開始後、1時間30分経過以降の均等回完了後に同点の場合は、延長戦行わず抽選とする。ただし決勝戦に限りタイブレークにて勝敗を決する。

キ 正式試合

5回終了時とする。

ただし、正式試合とならないとき（得点差に関係なく）及び5回以降得点差がなく、降雨・日没等で、当日の試合続行が不可能な場合は、翌日等に特別継続試合とする。

（再試合は行わない。）

ク 得点差によるコールドゲーム

4回10点差、5回以降7点差とする。

ケ 外野フェンスのない球場の場合は、ホームランラインを引く。直接ラインを越えた場合は、本塁打とする。ゴロでラインを越えた場合は、ボールデットとし二塁打とする。

2 競技運営等

(1) 打順表の提出

ア 当日、その試合に出場が見込まれる選手

（試合に来るであろうと思われる選手を含めて25名以内）を打順表に記載して、監督又は主将が本部に提出する。（試合開始整列時、10名以上）

イ 提出時期（打順表が出来上がった時点での提出を推奨する）

- ①当日の第1試合は、試合開始予定時刻の30分前
- ②第2試合以降は、3回終了時

ウ その他

- ①試合開始後、遅れてベンチ入りした場合は、球審又は本部にその旨通知すること。
- ②打順表は、5枚複写とする。
（チーム…2枚、本部…1枚、球審…1枚、控審判…1枚）

(3) 競技運営に関する取り決め事項

ア 次の事項については、北信連合会理事長（代行…副理事長）、同審判技術部長（代行…副審判技術部長）および必要に応じ、北信連合会会長並びに主管支部理事長と協議を行う。

- ①試合時間の遅延
- ②降雨及び日没等による中断の再開及び特別継続試合等

- ③内野手間の転送球の必要性
- ④試合日程及び天候等の理由による回数の変更（代表決定戦）
- ⑤その他

イ 投手の投球練習

シートノックを行わないので、先発バッテリーのみ、2回終了後、投球練習を認める。

ウ その日の第1試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。その際、アップ用の服装（同一が望ましい）でもよいが、攻守が決定した時点にはユニフォームに着替えること。ただし、北信大会に限り、降雨及び特に寒い日は、別途指示する。

エ 試合前のノック練習は、サイドノックを基本とするが、外野ノックを1か所として認める。ただし、短時間とすること。

オ 私服の者（チーム責任者、マネージャー、スコアラー）は、グラウンド内に入ることを禁止する。（ユニフォームに背番号のない者も含む。）

マネージャー及びスコアラーは、運動のできる服装でベンチに入ること。

カ プレーヤー（監督・コーチを含む。）のサングラス着用について使用を認めるが野球選手らしいサングラスとすること。（投手の偏光グラスは使用を認める。）

キ 競技場内のブルペン等でウォームアップを行う際の人数制限について

試合中、ベンチ前のキャッチボールを禁止するが、ブルペン等ファールグラウンドでウォームアップを行う場合は、人数を4名（2組）以内に制限する。

（投球練習時、捕手は保護防具を必ず着用すること。）

ク 登録外の者（ユニフォームを着用していない者）がサインを出す行為について

試合中、ベンチに入ることが許されたメンバーであれば、ベンチ内においては誰がサインを出してもよいものとする。

ケ 投球制限について

①投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、70球/日とし、試合中規定投球数に達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

②投球数の管理は、大会本部が行う。

3 その他

(1) 競技会において、不正を行ったチーム及び暴力等の行為を行った者に対しては、「長野県軟式野球連盟規約・規程集」に記された規程等を参考に、北信連合会会長が招集する会議に諮り措置する。なお、会議は、北信連合会会長、同理事長、同副理事長、同事務局長、同審判技術部長及び当該主管支部長および審判技術部長で構成する。

(2) 競技会の運営（降雨等による試合日時及び会場の変更）に関する事項については、北信連合会理事長が当該主管支部と連絡をとりながら、その都度指示するものとする。

(3) 降雨等による試合日程及び会場変更については、最善の方策を尽くすこととするが、なお、上位大会の日程に照らして、北信代表チームを決めることが困難な場合は、抽選によってこれを決定する。この場合、北信連合会理事長は、関係者に十分な説明を行い、混乱が生じないように努めなければならない。